

# まなざし Vol.5

2025.01

—5万点のフィルムが語る阿智村—

発行日：2025年1月17日

作成・発行：熊谷元一写真保存活用委員会

事務局：阿智村役場 協働活動推進課

TEL 0265-43-2220

kyodo@vill.achi.lg.jp



発足

## 熊谷元一写真保存活用委員会

2024年10月、「熊谷元一写真保存活用委員会」が発足し、阿智村長から11人が委員として委嘱を受けました。

これまで本広報誌「まなざし」Vol.1～4は「熊谷元一写真あり方検討委員会」が発行していましたが、Vol.5からは熊谷元一写真保存活用委員会が編集発行します。

保存活用委員会は、熊谷元一写真に関する取り組みを具体的に進める団体です。今後、企画展や保存のための研究、情報発信などに取り組んでいきます。

Instagram

## Instagram 始めました！

熊谷元一写真をより多くの人に知ってもらおうと、熊谷元一写真や童画を紹介するInstagramを始めました。

QRコードを読み取り ▶  
ご覧ください！



MOTOICHI.ACHIPHOTO

## 阿智診療所待合ロビーに写真展示します

飯田病院・阿智診療所の待合ロビーに写真を展示させていただくことになりました。定期的に写真を入れ替えて展示しますので、ご覧ください。



開催

## 熊谷元一写真展「春 -SPRING-」

飯田信用金庫・駒場支店ギャラリーを会場に、阿智村出身の写真家・童画家である熊谷元一の写真展を開催します。入学式や「春」を感じる写真12点を展示します。ぜひご覧ください。

・日時 2月3日（月）～2月28日（金） 午前9時～午後3時

・場所 飯田信用金庫 駒場支店ギャラリー（店舗入って左側）

入場無料



春の丘・土手で遊ぶ  
1954(S29)年 会地村

陽のあたる土手はわんぱく達の絶好の遊び場だ。目印になる基地を決めて戦いごっこに興じる。子ども達も多くテレビもゲーム機もなかった時代。

# 委員に聞きました！ その4

今回は熊谷元一写真保存活用委員会・委員の林茂伸さんにお話を聞きました。林さんは阿智村にある自然や歴史、暮らしといった地域資源をみんなで学び、活用する「阿智村全村博物館構想」に取り組んでいます。また阿智村役場職員だった時代に熊谷元一写真の保存業務にも携わっていました。地域資源の1つである熊谷元一写真についてどんな価値を感じているか語っていただきました。



**林 茂伸さん**  
阿智村全村博物館協会  
代表理事

## Q 元一写真にどのような価値を感じていますか。

単に過去を懐かしむだけの歴史の写真ではなく、様々な憂慮を抱える現代社会を考える一つの羅針盤になると思います。生活様式や文化を振り返ることで、私たちが直面している環境問題や社会的な課題に気づくことができます。村民にとっては身近な写真が多いので「懐かしい」で済んでしまいがちですが、「懐かしい」にとどまらない価値を見出すことが大事だと思います。



苗取りの家族 1958(S33)年 阿智村駒場

## Q 林さんがボランティアガイドをされている満蒙開拓平和記念館でも「悲惨だ、可哀想だ」だけではない未来に向けた学びを伝えていると伺いました。元一写真にはどのような学びの可能性があると思いますか？

元一写真を見ると、私たちの生活がどれほど変わったかを実感します。昔の人々の生活は、自然と共生するものでしたが、現代はそのバランスが崩れているように思います。不便な生活の中で協力し工夫しながら暮らしてきた。今の私たちが失ってしまったものを再認識し、未来に向けて何をすべきか考えるきっかけになると思います。

## Q 今後、元一写真をどのように活用していくべきだとお考えですか。

写真を見て、感じることは人それぞれですが、個々の価値観を共有する場を作りたいと考えています。重要なのは、元一の写真をただ展示するだけでなく、ワークショップやセミナーを通じて、より多くの人々にその価値を伝えることです。例えば、学校教育のふるさと学習に取り入れるとか。

## Q 教材として活用していくことが必要ですね。

活用しやすくなるよう、先生たちと一緒に教材化に取り組みたいです。子どもたちが興味を持って、元一写真の新しい価値を見つけてくれるのではないかと期待しています。

## Q 最後に元一写真に対する思いを教えてください。

新しいもの、最新のものに目を奪われ、フェイクがあふれる今の時代において、熊谷元一の作品を通して私たちがどのように生きるべきか、何を大切にすべきか、考えることができると思います。村民がその価値を理解し、また他の人に伝えることを通して、村全体でその価値を再認識できたらと思います。



ストーブの薪を用意する中学生  
1952(S27)年 会地村